

カニといえば冬のイメージがありませんか?実は、大村湾のワタリガニ漁の時期は、7~9月と2~5月です。8月になるとメスは卵を持ち、価格はオスの2倍に。小ぶりですが美味しいと評判です。9月になるとオスに身が入って美味しくなります。ぜひ、大村湾のワタリガニをご賞味ください。



令和2年7月豪雨災害への義援金を受け付けています

7月3日からの大雨により被災した熊本県などの地域を支援するため、義援金を受け付けています。ご協力をお願いします。

義援金箱設置場所

市役所案内・福祉総務課、市コミセン、郡コミセン、市社会福祉協議会

受付期間 12月22日(火)まで
※延長の可能性あり

■福祉総務課(内線151)



- 2 歴史の窓
- 3 マイナポイント
- 4 特集 ご存じですか?地域の身近な相談相手「民生委員・児童委員」
- 6 国勢調査にご協力ください
- 7 おおむらニュース
- 9 市政トピックス
- 10 情報ひろば
- 14 健康・福祉・子育て
- 18 もよおし・施設情報
- 20 みんなの広場
- 22 全国からたくさんの温かい支援を頂きました
- 23 公民館後期講座受講者募集
- 24 ミニ・オリエンテーリング大会

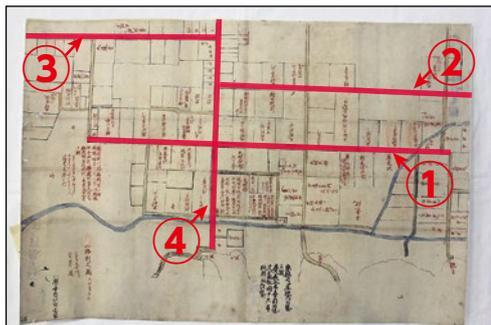
『歴史の窓』第2窓

■歴史資料館 ☎48・5050

水田、乾馬場に残る大村館小路割之図の世界

昔、大村に二つの城下町があったことをご存じですか?今月は戦国時代の城下町を紹介します。

水田町、乾馬場町の界わいは、戦国時代に当地を治めた大村氏が大村館という大規模な屋敷で政治を行った時期から、三城城を本拠地とした時期にかけて、館町、城下町として賑わいを見せており、4本の道路が町の骨格となっていました。この4本の道路は現在も使用されています。①諏訪1丁目と水田町を結ぶ1本。②西大村小学校の前を通過して池田・萱瀬方面へ至る1本。③本経寺の前を通過して杭出津1丁目へ至る1本。④前の3本すべてと交差する1本。④はバス通りの西側に並走する道路で、富松神社の入口から大上戸川をまたいで中央小学校をめがけて伸びています。



▲大村館小路割之図。赤色の部分が町の骨格だった道路。

城下町には戦国大名大村純忠や家臣たち、町で消費するさまざまな物を生産・販売する地元の商職人、村々から農水産品を持ち込む農漁民、流通に関わる遠隔地の商人、数ある寺の僧侶や各地を放浪する修験者、伊勢から御札を配りに来た御師、キリスト教の宣教師を始めとする外国人など、さまざまな人々が行き交い、暮らしていました。

そうした城下町の歴史は地名にも残っています。乾馬場町、古町の町名や大上戸川中流を指す部分名称・本堂川などが代表的です。ちなみに、大上戸川は元は下流を指す部分名称で、江戸時代までは全体を指して大村川といいました。

本市に戦国時代の城下町があったことは大切な歴史であり、その骨格や地名が残ることは貴重です。さらに、当時の町並みを描いた絵図・大村館小路割之図は絶品です。しかも、絵図が想像の世界ではなく事実であることを、近年の発掘調査は証明しています。

この先は歴史資料館を訪れてみてください。常設展示室にあるテーブル状の大型ディスプレイに絵図を映し出しています。初歩からマニアックなところまで、マスコット人形を使って楽しみながら見ることができます。歴史資料館でしか知ることができない城下町の様子が盛りだくさんです。もちろん、本物の絵図や発掘調査の出土品も展示しています。